

# 機器利用技術講習会のご案内

## 【摩擦攪拌接合装置】

大阪府立産業技術総合研究所では、所有している試験研究機器等を用いて中小企業の皆様の新技術・新製品の開発や生産管理・品質管理のお手伝いをしています。これら試験研究機器の利用範囲、性能などの特徴をより具体的にご理解いただき、皆様方に一層ご利用いただくため、下記の要領で講習会を開催しますのでご案内申し上げます。

◆日 時：平成25年3月26日（火）

① 9：45～ ② 13：20～ ③ 15：20～

各コースの講習時間は約1時間半です。

◆場 所：(地独)大阪府立産業技術総合研究所（和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518）

当日は、講習開始時刻前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：各コース（①～③）とも1社のみ。参加人数は1社5名まで

※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。

※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます（無料）。

◆受講料：無料

◆申込み先：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 顧客サービス室 顧客サービス課

※ お申し込みはメール ([fukyu@tri-osaka.jp](mailto:fukyu@tri-osaka.jp)) またはFAX (0725-51-2509) でお願ひします。

メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。

なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：摩擦攪拌接合装置

摩擦攪拌接合装置（図1参照）は、金属を溶かさず接合する装置です。高速回転させたツールを材料内に挿入し、そのときに発生する摩擦熱を利用して材料を攪拌しながら接合します。

一般に、熱処理が必要なアルミニウム合金等の金属材料では、特性の顕著な劣化や、あるいは溶接欠陥が発生しやすいため、溶融溶接は敬遠されがちです。しかしながら、摩擦攪拌接合では金属を溶かす必要がないため、欠陥の発生や特性の劣化を最大限に抑制できます。

本装置を用いることで、難溶融溶接材の安全性・信頼性を高め、付加価値の高い製品づくりにつなげることができます。なお、実習は、予め準備した材料（アルミニウム合金）を使用しています。



図1 摩擦攪拌接合装置

◆ 講習担当：(地独)大阪府立産業技術総合研究所 (TEL:0725-51-2518)

金属材料科

平田智文、田中 努

